

秋の全国交通安全運動

期間：令和6年9月21日(土)～30日(月)

◇スローガン 「反射材 光って気づいて 事故防止」

《年間スローガン：わたります 止まるやさしさ ありがとう》

◇運動の重点

反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止

反射材を活用しよう！



夕暮れ時以降は、歩行者の姿が思った以上に運転者などから認識しにくくなります。外出する時には明るい目立つ色の服装と反射材をつけて、自分の存在をアピールしましょう。

歩行者も自らの注意で事故を防ごう！



道路横断中の交通事故が多発しています。「歩行者優先だから」「車は止まってくれるはず」などの過信は危険です。横断歩道では、必ず止まって左右の安全を確認し、横断中も周囲の安全を確認しながら渡りましょう。

夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶

夕暮れ時以降は早めのライト点灯！ 夜間はハイビームも活用！



秋になると日没時刻が早まります。夕暮れ時以降は早めのライト点灯を心がけましょう。また、夜間帯は速度を落とし、ハイビームとロービームの切り替えをこまめに行いましょう。



飲酒運転も、あおり運転も 「絶対しない、させない」！

依然として飲酒運転による悲惨な交通事故は後を絶ちません。「あおり運転」(妨害運転)も重大な交通事故につながる極めて悪質・危険な行為です。一人ひとりが「絶対にしない、させない」という強い気持ちで根絶していきましょう。

自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

自転車も特定小型原動機付自転車もヘルメット着用！



自転車、特定小型原動機付自転車(いわゆる電動キックボードなど)に乗る時は、ヘルメットを着用しましょう。ヘルメットの着用により、事故発生時の致死率が大きく下がります。自分の命を守るため必ずヘルメットを着用し、交通ルールを守って安全走行しましょう。

《自転車安全利用五則》

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

主唱／南達交通対策連絡協議会

本宮市交通対策協議会／大玉村交通対策協議会／郡山北警察署本宮分庁舎

本宮地区交通安全協会／本宮地区安全運転管理者協会／安全運転管理本宮事業主会

本宮市交通安全母の会連合会／大玉村交通安全母の会／南達交通教育専門員連絡協議会

本宮市高齢者交通安全指導隊／大玉村高齢者交通安全指導隊

交通事故が増加しています！

郡山北警察署本宮分庁舎管内では、次のような事故が発生しています。
自動車・自転車の運転者や歩行者の方は十分注意してください。

★幹線道路での追突事故

★交差点内での衝突事故

★飲酒運転による自動車事故

★駐車場内での事故



事故に遭わない、起こさないために次の点に注意してください。

- 横断歩道を横断しようとする人がいる場合は、必ず停止しましょう。
- スピードの出し過ぎやスマホを使用しながらなどの危険運転は絶対禁止。
- 歩行者は夜間の外出はできるだけ避けるか、夜光反射材を活用しましょう。
- 夕暮れ時の早めのライト点灯、こまめのライト切替を実践しましょう。
- 交差点を右折する際は、直進してくる車に十分注意しましょう。

第 35 回 南達交通安全大会を開催します。

- ◆ 日 時 令和6年11月16日(土) 午前9時30分～
- ◆ 会 場 大玉村農村環境改善センター(大玉村玉井字西庵)
- ◆ 主 催 南達交通対策連絡協議会

郡山北警察署本宮分庁舎管内(本宮市・大玉村)は、国道4号が縦貫し、東北自動車道や磐越自動車道の乗降口として本宮インターチェンジが設けられているなど、交通の要衝として日頃から車両の通行量が極めて多い交通環境にあります。

管内の交通事故発生件数は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、人々の往来が活発になってきたことに伴い、少しずつ増加する傾向にあり、重大な交通事故の発生が危惧される状況であります。

本大会は、このような情勢を踏まえ、関係機関、団体などが一丸となり、総合的な交通事故防止対策を推進することを目的に開催します。

警察署から「なりすまし詐欺」に注意のお知らせ

このような電話やメール(SNS)は“なりすまし詐欺”です。

- ×「市役所です。保険料の還付金があります。」
- ×「年金事務所です。年金の不足分をお支払いします。」
- ×「警察署です。あなたの口座からお金が引き出されています。」
- ×「有料サイトの利用料が未納です。本日中にご連絡ください。」
- ×「あの著名人が、あなただけに必ずもうかる投資情報を教えます。」



「おかしいな？」と感じたら、迷わずに、

#9110(警察安全相談ダイヤル)又は、110番に通報ください。